

Doc. No.: MTNL070109

2007年1月9日

## 世界最高速のサーマルCTP「PlateRite 8800Z」をはじめ3タイプを新発売 ～導入後の仕事量に合わせて生産性のアップグレードを実現～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)は、世界最高速<sup>※1</sup>の生産性を実現する「PlateRite (プレートライト) 8800Z」をはじめとする3タイプのサーマルCTP (= Computer to Plate) 装置を、2007年2月1日から販売します。

「PlateRite 8800E/S/Z」は、印刷用のデジタルデータを刷版(プレート)に直接出力するサーマルプレートレコーダー「PlateRite 8800II」の後継機種。最上位機種の「PlateRite 8800Z」は、最新のGLV<sup>TM</sup> <sup>※2</sup>技術を採用したヘッドにより、1時間当たり最高42版<sup>※3</sup>を出力できる高い生産性を実現しています。また、「PlateRite 8800E/S」を導入した後、仕事量に合わせて生産性をZモデルまでアップグレードできます。

「PlateRite 8800E/S/Z」では、4,000dpiの高解像度出力をサポートする、ハイレゾリューションオプションを用意。高精細スクリーニングと組み合わせて、証券印刷などに使われているマイクロ文字や、セキュリティ印刷なども忠実に再現する刷版を作製できます。さらに、レンチキュラーオプションの導入により、高品質なレンチキュラー印刷刷版の作製も可能です。このほか、マルチカセットオートローダー「MA-L 8800II」により自動化ラインの構築も可能で、最大5種類の異なるサイズの刷版に対応。合紙を自動除去して供給し、ニーズに合わせたプレートを自動供給できます。

当社は、今回の「PlateRite 8800E/S/Z」の発売により、CTP装置のラインアップを一層充実させるとともに、JDF対応ワークフローシステム「Trueflow 3」と連携した運用によりプロセスオートメーションを実現し、世界市場においてさらなるシェア拡大を目指します。

※1 当社調べ。(PlateRite 8800Zの場合)

2006年12月14日現在販売されている四六全版に対応したサーマルCTPにおいて、世界最高速機となります。(最大プレートサイズ：1,160×940mm、2,400dpi時)

※2 GLV<sup>TM</sup> (Grating Light Valve<sup>TM</sup>)

MEMS (微小電子機械システム) と呼ばれるセンサーや通信、バイオ分野で使用されている半導体技術と光の干渉性を利用した光学原理に基づく技術。半導体素子の基板上に光を反射するリボンを並行に配列した構造で、露光ビームの多チャンネル化を図ることが可能。

※3 プレートサイズ1,030×800mm、解像度2,400dpiの場合。生産性はプレートの感度によって異なることがあります。

\* この装置は、2月7日から9日まで東京池袋・サンシャインシティコンベンションセンター TOKYOで開催される展示会「PAGE2007」でご紹介します。

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 企画統轄部 商品企画部：  
Tel 0774-46-7964 Fax 0774-43-1367 〒 613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 304-1

**<国内希望販売価格(消費税別)>**

PlateRite 8800E : 5,000 万円

PlateRite 8800S : 5,500 万円

PlateRite 8800Z : 6,500 万円

**<販売開始日>**

2007年2月1日

**<年間販売予定台数>**

120 台



**PlateRite 8800Z**

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。  
([www.screen.co.jp/press/nr-photo/](http://www.screen.co.jp/press/nr-photo/))